



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 アプライド株式会社
代表社名 代表取締役 岡 義治
(コード番号：3020)
問合せ先 常務取締役 坂井 雅実
電話 092-481-7801

業績予想と実績との差異ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に発表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日）の通期業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 平成 29 年 3 月期連結業績予想と実績との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）
(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想(A)	30,801	998	1,096	660	260.06
当期実績(B)	30,237	1,261	1,260	668	263.40
増減額(B)-(A)	△564	263	164	8	
増減率	△1.8	26.3	14.9	1.2	
(ご参考) 前期実績	29,002	931	1,093	657	258.96

2. 差異の理由

BtoB 販売強化に際し、仕組みを活用した販売の効率化と技術力を活かしたサービスの提供に加え、アプライド店舗での独自商品・サービスの展開が順調に推移し、売上総利益の増大につながり、営業利益は、前回公表値より 263 百万円増の 1,261 百万円、経常利益は 164 百万円増の 1,260 百万円、当期純利益は、8 百万円増の 668 百万円となりました。

なお、前期実績における経常利益は、営業外収益として受取保証金が一時的に発生したため、その数値を含んだ値となっており、当期実績には含まれておりません。

3. 特別損失について

当社グループが所有する土地及び店舗設備について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 138 百万円を特別損失に計上いたしました。

4. 特別損失が業績に与える影響

本件につきましては、本日公表しました「平成 29 年 3 月期 決算短信[日本基準](連結)」に反映しております。

以上